

令和6年度 指導科目のねらいと内容 ※実務経験を有する教員等による授業科目に係るシラバス

(1) 1年次教育科目

① 野菜・花きコース

[illegible]

② 落葉果樹コース

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師										備 考
			講義	実習	計											
専 門 科 目	農場実習 I	栽培実践、生産物の出荷調整および販売、加工の実践をととして技術・管理経営能力を養う。 卒業論文課題の調査および管理作業の実践をととして生理・生態の把握と技術・管理経営能力を養う。環境・品質モニタリング機器の基礎を習得する。環境・品質モニタリング機器によるデータの収集と利用。		675	675	落葉果樹栽培の実践実習（環境・品質モニタリング機器の基礎及びデータの収集と利用）	収穫・出荷、販売、加工の実践（品質モニタリング機器によるデータの収集と利用）	土壌管理の方法の習得・実践	卒業論文課題の実践	GAPの実践	果樹機械実習（車両系建設機械の資格取得者のみ）					教科書 「大判図解最新果樹のせん定 農文協」 実務経験のある教員等による授業科目
		345				45	30	225	15	15						
		4月～3月				6月～3月	11月～3月	10月～3月	12～3月	3月						
		本校職員				本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員						

③ 肉用牛コース（令和6年度入学生）

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師												備 考
			講義	実習	計													
専 門 科 目	家畜飼養管理実習Ⅰ	肉用牛の飼養管理技術を習得する。 牛モニタリング機器の基礎を習得する。 牛モニタリング機器によるデータの収集と利用。			675 675	基本的な飼養管理技術（牛モニタリング機器の基礎及びデータの収集と利用）	削蹄技術	人工授精師養成講習会	家畜先進事例研究									下奥朋則（削蹄師）、岡 勝人（獣医師）、畜産技術センター、農業法人、先進的個別経営体、県職員等 実務経験のある教員等による授業科目
		【評価方法】 習熟度と学習態度の総合評定				583.5	15	61.5	15									
						4～3月	4～3月	7～8月	4～3月									
						外部講師・本校職員	外部講師	県職員	本校職員									

④ 肉用牛コース（令和5年度入学生）

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師												備 考
			講義	実習	計													
専 門 科 目	家畜飼養管理実習Ⅰ	肉用牛の飼養管理技術を習得する。 牛モニタリング機器の基礎を習得する。 牛モニタリング機器によるデータの収集と利用。			675 675	基本的な飼養管理技術（牛モニタリング機器の基礎及びデータの収集と利用）	削蹄技術	家畜先進事例研究										下奥朋則（削蹄師）、岡 勝人（獣医師）、農業法人、先進的個別経営体、県職員等 実務経験のある教員等による授業科目
		【評価方法】 習熟度と学習態度の総合評定				645	15	15										
						4～3月	4～3月	4～3月										
						外部講師・本校職員	外部講師	本校職員										

（2） 2年次教育科目

① 野菜・花きコース

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師												備 考
			講義	実習	計													
専 門 科 目 （野菜専攻）	農場実習Ⅱ	栽培・収穫・出荷を実践することにより技術力を身につける。農大祭や道の駅たかの等での直売実践することにより生産物の販売手法を学ぶ。プロジェクト学習に取り組み課題解決に向けた調査手法を習得する。環境モニタリング機器によるデータの収集と活用について学ぶ。			540 540	プロジェクト課題の実践	各品目の栽培管理の実践（環境モニタリング機器によるデータの収集と活用を含む）	露地、施設畑の土壌管理の実践	栽培施設の維持管理の実践	管理器具・機械の利用実践	各品目の収穫・出荷調製の実践	圃場管理・運営の実践	直売実践					実務経験のある教員等による授業科目
		【評価方法】 技術・技能の習熟度、学習態度				243	90	42	42	42	42	15	24					
						4～10月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月					
						本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員					
専 門 科 目 （花き専攻）	農場実習Ⅱ	栽培実践を通して技術・経営管理能力を養う。直売などの販売実践を通して、生産物の販売手法を学ぶ。プロジェクト学習に取り組み課題解決に向けた調査・とりまとめ手法を習得する。環境モニタリング機器によるデータの収集と活用。			540 540	プロジェクト課題の実践	栽培品目の生産管理（環境モニタリング機器によるデータの収集と活用）	栽培施設の環境管理	栽培施設の整備（ビニルの張り方、暖房機の整備等）	管理器具・機械の利用と整備	栽培品目の収穫・調製・販売・加工・利用の実践	圃場管理・運営方法の実践	直売による販売実践					実務経験のある教員等による授業科目
		【評価方法】 習熟度と学習態度の総合評定 プロジェクトの実践				246	96	42	27	30	60	15	24					
						4～11月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	10～11月					
						本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員					
専 門 科 目 （就農実践専攻）	農場実習Ⅱ	栽培・収穫・出荷を実践することにより技術力を身につける。農大祭や道の駅たかの等での販売実践により、生産物の販売手法を学ぶ。環境モニタリング機器によるデータの収集方法と活用方法を学ぶ。環境制御機器の利用技術を学ぶ。各種管理簿の記帳や作付計画の策定等を通じて圃場の管理方法を学ぶ。			360 360	各品目の栽培管理、防除の実践（環境モニタリング機器によるデータの収集と活用を含む）	露地、施設畑の土壌管理の実践	育苗の実践	汎用的な管理器具、機械の利用	施設栽培における環境管理の実践及び管理器具・機械の利用（環境制御機器の利用を含む）	各品目の収穫、調製、出荷の実践	圃場管理及び運営の実践	農大祭、道の駅たかの等での販売実践					実務経験のある教員等による授業科目
		【評価方法】 技術・技能の習熟度、学習態度				105	24	24	33	24	105	15	30					
						4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	4～5月、10～3月	10～11月					
						本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員	本校職員					

② 落葉果樹コース

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師										備 考
			講義	実習	計											
専 門 科 目	農場実習Ⅱ	栽培実践、生産物の出荷調整および販売、加工の実践をととして技術、管理経営能力を養う。 プロジェクト課題の調査および管理作業の実践をととして生理・生態の把握と技術、管理経営能力を養う。 環境・品質モニタリング機器によるデータの収集と活用について学ぶ。		540	540	プロジェクト課題の実践	落葉果樹栽培の実践実習（植付、結実管理、病虫害防除、整枝剪定、GAP実践、（環境・品質モニタリング機器によるデータの収集と活用）	収穫・出荷・販売・加工・利用の実践（品質モニタリング機器によるデータの収集と活用）	土壌管理の方法の習得・実践							実務経験のある教員等による授業科目
		240				225	45	30								
		4月～10月				4月～3月	4月～3月	4月～3月								
		本校職員				本校職員	本校職員	本校職員								

③ 肉用牛コース（令和6年度入学生）

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師											備 考
			講義	実習	計												
専 門 科 目	家畜飼養管理実習Ⅱ	肉用牛の飼養管理技術を習得する。 牛モニタリング機器によるデータの 収集と活用。		495	495	基本的な飼養管 理技術（牛モニ タリング機器に よるデータの収 集と活用）	削蹄技術										下奥朋則（削蹄師）、 岡 勝人（獣医師） 実務経験のある教員等 による授業科目
		【評価方法】 習熟度と学習態度の総合評定				480	15										
		4～3月				4～3月											
						外部講師・本校職員	外部講師										

④ 肉用牛コース（令和5年度入学生）

区分	科 目	ねらい	指導時間			指導項目・時間・時期・講師										備 考	
			講義	実習	計												
専 門 科 目	家畜飼養管理実習Ⅱ	肉用牛の飼養管理技術を習得する。 牛モニタリング機器によるデータの 収集と活用。		495	495	基本的な飼養 管理技術（牛 モニタリング 機器による データの収集 と活用）	削蹄技術	人工授精師養 成講習会									下奥朋則（削蹄師）、 岡 勝人（獣医師）、 畜産技術センター 実務経験のある教員等 による授業科目
		【評価方法】 習熟度と学習態度の総合評定				418.5	15	61.5									
		4～3月				4～3月	7～8月										
		外部講師・本校職員				外部講師	県職員										